

様式第2号（第8条関係）

審議会等会議録

会議の名称	令和4年度 第1回 加須市環境審議会(書面)
開催日時	令和4年9月9日(金) (書面決議〆切日)
開催場所	—
議長氏名	浅野和生委員
出席委員 (決議委員)	浅野和生委員、青木正枝委員、牛腸宏委員、前田博之委員 金井恭一委員、鈴木良子委員、鳥海靖久委員、関根聖司委員 野口智章委員、大塚専司委員、若山敬委員、金子亮委員 大原利眞委員、稲場康仁委員、柳田浩委員
欠席委員	—
会議次第	議事1 加須市環境審議会 会長・副会長の選任について 報告1 令和3年度に実施した環境の保全及び創造に関する施策 の報告について
会議資料の名称	資料1 加須市環境審議会 会長・副会長の選任について(案) 資料2 加須市の環境 令和4年度版(令和3年度実績) 資料3 加須市の環境 令和4年度版(令和3年度実績)の概要 について 資料4 令和4年度加須市の環境(令和3年度実績)指標総括表 参考 資料確認のポイント
会議の公開又は 非公開の別	公開
非公開の理由	
傍聴者の数	
説明者の職・氏名 (書面回答対応)	環境安全部長 福田浩一 環境政策課主幹 牛久保敏之 環境政策課主任 阿久津健介
事務局職員職・氏名	
会議録の作成方法	<input checked="" type="checkbox"/> 要点記録 <input type="checkbox"/> 全文記録
その他必要な事項	なし

様式第3号（第8条関係）

発言者	会議の内容(発言内容、審議経過、決定事項等)												
事務局	<p>【議事1】「加須市環境審議会 会長・副会長の選任について」</p> <p>加須市環境審議会規則第2条第1項に基づき、会長と副会長は、委員の互選によって定めることとなっています。しかし、今回の審議会は、書面による開催のため、会長及び副会長を事務局にて推薦し、下記の事務局案のとおり提案いたします。</p> <p>【事務局案】 (敬称略)</p> <table border="1" data-bbox="536 779 1345 1025"> <thead> <tr> <th>役職名</th> <th>委員氏名</th> <th colspan="2">所属団体及び役職名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>会長</td> <td>浅野 和生</td> <td>平成国際大学 副学長</td> <td>3期目</td> </tr> <tr> <td>副会長</td> <td>青木 正枝</td> <td>埼玉県生態系保護協会 加須支部 支部長</td> <td>2期目</td> </tr> </tbody> </table>	役職名	委員氏名	所属団体及び役職名		会長	浅野 和生	平成国際大学 副学長	3期目	副会長	青木 正枝	埼玉県生態系保護協会 加須支部 支部長	2期目
役職名	委員氏名	所属団体及び役職名											
会長	浅野 和生	平成国際大学 副学長	3期目										
副会長	青木 正枝	埼玉県生態系保護協会 加須支部 支部長	2期目										
委員回答	<ul style="list-style-type: none"> ・承諾する・・・15 ・承諾しません・・・0 												
事務局	<p>回答を得られた委員全員の承諾を得られたため、加須市環境審議会規則第3条第3項の規定により、事務局案のとおり、会長及び副会長を選任いたします。</p>												
前田委員	<p>【報告1】「令和3年度に実施した環境の保全及び創造に関する施策の報告について」</p> <p>「資料2 61 ページⅡ-1-(1)・①生物多様性の保全」</p> <p>渡良瀬遊水地のコウノトリの定着に向けては、青木委員から市に情報提供されたと聞いているが、大利根地域の田んぼにコウノトリ5羽が飛来していたようなので、要因を調査したり、うまくPRすることで、施策「Ⅱ-1-(1)・⑨ 環境保全型農業の推進」にもつながるのではないかと。</p>												
事務局回答	<p>渡良瀬遊水地のコウノトリの定着をはじめ生物多様性の保全に向けては、関係団体や関係自治体と連携して、生物基礎調査や</p>												

<p>前田委員</p> <p>事務局回答</p>	<p>PR 活動等に取り組んでまいります。引き続き、情報提供をよろしくをお願いします。</p> <p>「資料2 65 ページⅡ-1-(1)-⑩鳥獣保護及び外来生物による被害防止」</p> <p>クビアカツヤカミキリ対策はどのように行われているのか。本市は、利根川沿いに西側から被害拡大の最前線にあたるので、近隣自治体の対策（懸賞金、講習会）も参考にぜひ力を入れていただきたい。</p> <p>市の対応としましては、市HPや市報にてクビアカツヤカミキリへの対策について注意喚起を行っている他、市民の皆様からご相談を受けた場合には、担当職員が現地を確認して薬剤による対応方法をご案内しています。</p> <p>また、市公共施設については、被害状況を調査し、被害が出ている樹木に薬剤散布を行うなど防除対策を実施しております。</p> <p>今後も県環境科学国際センターと連携し、近隣自治体の対策も参考にしながら、適切に防除対策を実施してまいりたいと存じます。</p>
<p>前田委員</p> <p>事務局回答</p> <p>前田委員</p>	<p>「資料2 66 ページⅡ-1-(1)-⑪水と緑と文化のまちづくり基金の活用」</p> <p>年末に開催予定の生物多様性条約第15回締約国会議（第2部）で、2030年までに陸域・海域それぞれ30%以上を保護地域にする「30by30」が、各国（各地域）の目標となる見通しである。</p> <p>過年度に、同基金を浮野の里の公有地化に充てられたように、ぜひ自然地を確保する、または自然を再生する事業に活用していただきたい。</p> <p>本市は浮野の里をはじめ、多くの貴重な自然を有し、そこには様々な生物種が生息しておりますので、これらの自然環境を将来に渡って守っていく必要があります。</p> <p>今後も、自然環境の保全・再生の取組に関する事業への同基金の活用を検討してまいります。</p> <p>「資料2 67 ページⅡ-1-(1)-⑬森林環境贈与税の活用」</p>

	<p>森林環境贈与税を屋敷林等保全事業に充てられたのは有益なので、継続していただきたい。</p>
事務局回答	<p>引き続き、地球温暖化防止や災害防止の視点による森林保全等を推進するため、積極的に森林環境贈与税の活用を検討してまいります。</p>
前田委員	<p>「資料 2 217-218 ページ/ (4)生きものへの配慮」 実績成果として挙げている、ほ場整備・農地の畦畔除去・農業経営改善事業・道路側溝整備・公園の池の清掃は、具体的に「生きものへの配慮」に繋がったのか。少なくとも市民の誤解を招かない表現となるよう工夫が必要に思う。</p>
事務局回答	<p>実績成果として挙げている取組内容については、指標に対する取組結果を記載しておりますが、今後、分かりやすい表現に改めてまいります。</p>
青木委員	<p>「資料 2 61 ページⅡ-1-(1)-①生物多様性の保全」 方針「また、渡良瀬遊水地のコウノトリの定着に向けて『エサ場となる水田や湿地の保全、再生に努め、』近隣自治体と連携して取り組みます。」この一文を加えると、もっと充実するのではないか。</p>
事務局回答	<p>施策事業ごとに記載されている方針は、令和3年3月に策定された「第2次加須市環境基本計画」より抜粋したものでありますので、本計画の令和7年度の改訂の際に、ご意見を反映させていきたいと考えております。</p>
大原委員	<p>「資料 3 加須市役所におけるCO2年間排出量」 地球温暖化防止実行計画を昨年3月に策定したにもかかわらず、目標をかなり上回っていることに対して、より深く検討する必要があるのではないか。原因として、①電気排出係数の変更、②施設の新設、③コロナ対策を挙げているが、以下の点に関して更なる検討が必要ではないか。 ①については電気消費量で比較するとどうなるか。 ②については施設の新設はこれからも起こりえることであり、</p>

新設分による増加を見込んで削減施策を進めるべきではないか。

③については何故コロナ対策したことによってエネルギー消費が増えたのか。

事務局回答

「第3次加須市役所地球温暖化防止実行計画」における温室効果ガスの排出量の削減目標は、令和12年度（2030年度）に平成25年度（2013年度）比40%減としており、現状のままでは極めて達成が困難な状況となっております。

この目標を達成するには、これまで以上に温室効果ガス削減に向けた取り組みを一層推進し、その結果について検証する必要があります。

今後はソフト面の取り組みを継続しながら、公共施設における再生可能エネルギーの導入や省エネルギー型照明機器の導入、環境負荷の低い空調・機械設備の導入といったハード面の取り組みを積極的に進めることが課題だと考えております。

ご指摘いただいた①～③については、以下のとおり考えております。

①電気使用量で比較すると、基準年度（平成25年度）比で5.7%減、前年度比で0.7%増となります。電気使用量の比較では係数の変更の影響は受けませんが、前年度比で微増となっている要因としましては、以下の③が考えられます。

②ご指摘のとおり、施設の新設や廃止などを見込んで取り組みを推進していく必要がありますので、関係部局と連携しながら、温室効果ガスの削減に向けた施策を実施してまいります。

③前年度比で大幅に増となった施設を対象に原因を検証しました結果、保育施設等におけるコロナ対策において、常時換気しながらエアコン稼働する機会が増えたことが電力使用量の増加の要因の一つとなっております。また、令和2年度についてはコロナ対策による公共施設の臨時休館や利用時間の短縮等で電気使用量が減少しましたが、令和3年度については令和2年度ほど利用制限がなかったため、電気使用量が増加に転じたと考えております。

大原委員

「資料4 循環型社会の構築に関する3つの環境指標」
いずれの指標についても、目標値の80%達成ということから

事務局回答	<p>「概ね達成」と評価しているものと思われるが、令和元年度の実績値を上回っていることから「概ね達成」と評価するのは妥当ではないと考える。</p>
事務局回答	<p>「一人1日当たりのごみ排出量」、「プラスチック類ゴム製品ごみ排出量」、「焼却灰の発生量」の指標については、数値が下がることが好ましい指標となっております。事業達成度については、達成度評価基準に基づいて評価しており、令和3年度の指標の実績値が目標値の80%以上に達しているため、「概ね達成」の評価としております（※下がるのが望ましい指標のため、「目標値÷実績値×100」の計算式で算出）。</p>
事務局回答	<p>ご指摘のとおり、3つの指標については令和元年度比で見ると令和3年度は増加となっていることから、評価として妥当ではないというご意見もあると思いますが、令和2年度にこれまでの取組の点検・評価や社会情勢の変化などを踏まえた計画の見直しを行い、施策事業ごとの指標・目標値などを新たに設定しております。達成度評価については単年度ごとの目標値に対する評価を行っておりますので、ご理解をお願いいたします。</p>
大原委員	<p>「資料4 指標総括表の全体評価」 今後の展開として、「さらなる環境学習や環境教育の推進をはじめとして、身近な環境問題に対する意識啓発を図り、」とのことだが、市の取組に係る視点も含める必要があるのではないかと。すべて市民の責任、市民任せとしているような印象を持つ。</p>
事務局回答	<p>環境に関する取り組みは、市民の皆様、事業者の皆様、市の連携・協働で推進することが重要と考えております。ご指摘の点については、誤解の無いよう表現を改めます。</p>
大原委員	<p>昨年の審議会で報告があった「ゼロカーボンシティ宣言をする予定」については、その後、どうなったのか。</p>
事務局回答	<p>現在、加須市では地方公共団体実行計画（区域施策編）の策定を進めており、ご質問のゼロカーボンシティ宣言につきましては、この計画の策定状況を見極めながら表明時期を検討いたします。今後、地方公共団体実行計画（区域施策編）について、環境</p>

大原委員	<p>審議会委員の皆様からご意見を頂きたいと考えておりますので、よろしくお願いいたします。</p> <p>審議会資料を紙で配布する必要があるか。希望される委員には電子データ（特に資料2）で配布することを検討されてはどうか。「ごみの減量化」を市役所が率先して進めるべきだと考える。</p>
事務局回答	<p>ご指摘のとおり、配布資料については環境に配慮した取組として、可能な限り、紙ではなく電子データでの配布が望ましいと考えております。今後、審議会資料の配布方法についても、委員の皆様のご意見を伺ったうえで、電子データでの配布も含めた環境に配慮した方法を検討いたします。</p>
鈴木委員	<p>本年度より環境審議会委員となり、送付いただいた資料を読み一応確認させていただいたが、新任のことなので大変勉強させていただいた。かぞ地域女性会連合会の環境部として、コロナ感染の状況をみながら行事を実施していきたいと思う。</p>
事務局回答	<p>この度は加須市環境審議会の委員をお引き受けくださり誠にありがとうございます。今後も、環境の保全及び創造に関する施策についてのご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。</p>

会議の内容に相違ないことを証するため、ここに署名します。(注)

令和4年11月17日

署名 浅野和生

(注) 特に署名を要しない審議会等については、事務局名を記入してください。